

まえがき

平成 26 年 11 月 3 日、西田篤弘先生が瑞宝重光章を叙勲されました。西田先生は宇宙科学の黎明期から今に残る数々の成果をあげてこられました。なかでも先生のリーダーシップにより実現したジオテイル衛星ミッションが生み出した成果は極めて大きいものがあります。これを機会に、「ジオテイル衛星チームの集い」を開催する事と併せて、当時の思い出を記録に留めたいと思い、この衛星の開発や運用に貢献していただいた学界ならびに産業界の方々にご参加をお願いしましたところ、多くの方々からご賛同・ご寄稿をいただきました。その内容は、計画段階から開発、飛翔前試験、射場作業、運用など多岐にわたります。中には広範な年月をカバーしているものもありますが、凡そ年代順に並べました。

ジオテイル衛星は 1990 年代の磁気圏物理学の世界で最大の成果を出したミッションと評価されています。現在、打上げから 22 年半を超え、2 台のデータレコーダの内の 1 台が機能停止するなど、若干の機能低下があるものの、ほとんどの観測装置は今も元気に意義ある観測を続けています。この状況を客観的に示すデータを最後に載せていますので、ご参照ください。

この素晴らしい衛星を作っていただいた方々に感謝するとともに、文集作成へのご協力に対して厚く御礼を申し上げます。

(編集：向井利典)



打上げ成功の寄せ書き



ジオテイル衛星チームの集い
(2015年1月17日、霞山会館)